

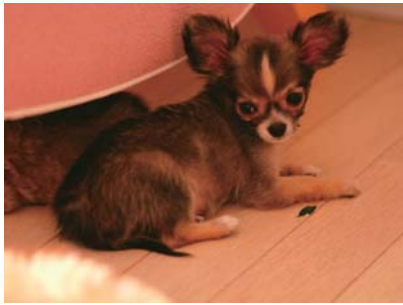


犬・笑・暮だより vol.48

冬の暖房 ～床暖房と冬の温度管理～



あこがれの心地よい暖房と言えは、まず一番に床暖房が思い浮かびます。部屋の中の空気が足元からじんわり、まんべんなく暖まって、気持ち良さそう。人間だけではなく、ワンちゃんにとってもよいことがたくさんありそうです。



床暖房のある暮らし

床暖房は、空気が汚れないので換気をしなくていいし、温風が吹かないので、皮膚が乾燥してフケにならないし、抜け毛やホコリを舞い上げるといこともありません。また、近づきすぎて危ないということもないし、器具やコードが露出しないから部屋が広々使えるのも嬉しいところ。カラダもココロもほんわかあったまり、快適です。

床暖房は愛犬との暮らしにはもってこいの暖房といえそうですが、気をつけてあげなければならないこともあります。ワンちゃんが普段いる場所を床暖房にする場合は、全面ではなく、床暖房の入っていないところもつくり、体が熱くなったときに移動して、少し熱を冷ます場所をつくることをオススメします。寒くなったらまた暖かい床に移動してあげればいいですからね。

これが、子犬や老犬になると、熱くなりすぎていることに気がつかないまま熟睡してしまい、ときには低温やけどを起こしてしまうこともあります。そのような場合は、飼い主さんが時々様子を見て移動させてあげることが必要です。また、水分がいつでも取れるように、新鮮なお水が常にフードボールにあるように気をつけてあげましょう。

冬の温度管理と健康

人間と違い、毛皮を着ている犬にとっては、適温での暮らしにはデメリットもあります。あまりにも快適な環境で暮らし続けていると、体温調節が下手になり、少しの温度変化にもついていけず、体調不良を起こしてしまうこともあります。また、換毛のタイミングが分らなくなり、季節に合わせての抜け変わりがうまくいけなくなることも。

この快適すぎる住環境については、ひょっとしたら人間にも同じことが言えるのかもしれませんがね。

寒くても、ちょうど良い時間を見つけて、一日に一回はワンちゃんと外に出て、外気を吸って気分転換。季節を味わって、冬を楽しみましょう。

Mini Column

床暖房にはどんな種類があるの？

床暖房の種類はたくさんありますが、大きく分けると電気式と温水式になります。種類によって初期費用やランニングコストが大きく違ってきますので、暮らし方に合ったものを選ぶことがポイントです。

たとえばリフォームで床暖房を設置する場合、電熱線で発熱するシートを床下に敷き込む方式のものは施工が簡単。初期費用は安くすみますが、ランニングコストは高めです。狭い面積で短時間使う場合に向いています。

それに対し、温水を循環させるタイプは、給湯器の設置や配管工事など費用が掛かりますが、ランニングコストは安く済みます。愛犬と暮らすご家庭のように、リビング・ダイニングなど広い面積で長時間使う場合は、温水式床暖房がオススメです。また、温水式は電気式に比べ、低温ヤケドをおこす心配がほとんどないのも利点です。

床暖房はホットカーペットのように床だけが暖かいというのではなく、輻射熱で部屋全体を暖めてくれます。真冬でも、他の暖房器機を使わなくても十分暖か。春の陽だまりのような穏やかな暖かさを感じることができます。

愛犬の関節炎を防ぐための、滑りにくい床や段差の解消をご検討なら、同時に温水式床暖房を取り入れてみてはいかがでしょうか。冷えからくる関節の痛みも解消でき、人も愛犬も、より快適な暮らしが楽しめるのではないのでしょうか。



愛犬に関するお住まい・お庭のお悩みは **庭遊館** にお気軽にご相談下さい



携帯サイトはコチラ！

庭園工事・外構工事・管理・設計施工

株式会社 庭遊館

〒504-0945 各務原市那加日新町6-65

TEL 058-216-3110

FAX 058-216-3113

<http://www.teiyukan.jp>

